

映画紹介

浪華悲歌 (1936年公開)	電話交換手として働くアヤ子は、父親のために勤め先である薬種問屋の社長の愛人となり、借金の肩代わりをしてもらい……。山田五十鈴が溝口健二監督の厳しい演出に耐え「自立する女性」を演じきっている。(71分)。松竹キネマ。
細雪 (1983年公開)	谷崎潤一郎の小説は何度も映画化されたが、今回は市川崑監督作品。旧家の4姉妹の物語を、三女（吉永小百合）の縁談話を中心に四季折々の風物を織り交ぜて描く。岸恵子、佐久間良子も出演。(140分)。東宝創立50周年記念作品。
河内カルメン (1966年公開)	原作は今東光。河内で貧しくも清らかに育った露子（野川由美子）の波乱万丈の人生を描く。大衆的で元気いっばいの色気をおおせたコメディ。監督は鈴木清順。(89分)。日活
プリンセス・トヨトミ (2011年公開)	人気作家・万城目学の奇想天外エンタテインメント。大阪を訪れた会計検査院の調査官たちがこの地で脈々と守り継がれてきた驚くべき秘密を知る。ヒロインに綾瀬はるか、沢木ルカ。監督は鈴木雅之。(119分)。東宝。
ジョゼと虎と魚たち (2003年公開)	田辺聖子の短編集をもとに渡辺あやが脚本を担当。足が悪いためにほとんど外出をしたことがないジョゼ（池脇千鶴）と、大学を出たばかりの恒夫（妻夫木聡）とのラブストーリー。監督は犬童一心。(116分)。
茶々ー天涯の貴妃 (2007年公開)	井上靖の小説『淀どの日記』を原作に、豊臣秀吉の側室、茶々（淀殿）の生涯を描く。主演の和央ようかは元タカラヅカの男役トップスター。退団後に映画に初出演し、初めて女性を演じた。監督は橋本一。(128分)。

講師紹介

○上倉 庸敬 (かみくら・つねゆき)

1949年横浜市生まれ。大阪大学教授。西洋と日本の芸術理論の比較と交流。文学、演劇、映画の作品を中心に研究。著書に「フランス美学 涙の谷を越えて」

○武部 好伸 (たけべ・よしのぶ)

1954年大阪市生まれ。元読売新聞記者。フリー活動。関西大学非常勤講師、映画、ケルト文化、洋酒をテーマに執筆。著書に「ぜんぶ大阪の映画やねん」など。

○吉田馨 (よしだ・かおる)

1964年兵庫県生まれ。映画研究で大阪大学から「博士(文学)」。京都精華大学非常勤講師。著書に「京都 絵になる風景 銀幕の舞台をたずねる」

